



駆け抜ける大垣工業高校の生徒たちに応援看板と幟り旗で声援を送る工事関係者ら = 大垣市若森町

『心身鍛える、大垣工高、伝統の強歩大会！』

将来の土木技術者らを沿道で声援

- 岐阜県立大垣工業高等学校（大垣市南若森町）は1月20日（火）、杭瀬川堤防において強歩大会を開催した。寒さに打ち勝つ強い精神力を養おうと毎年開き、今年で39回目を迎えた伝統行事。男子828人、女子19人の計847人が参加し、男子は13^{キロ}、女子は10^{キロ}の踏破を目指した。

杭瀬川堤防の大会コースに、揖斐川第二出張所と現在建設中の杭瀬川堤防の工事を請け負う岐建株式会社（大垣市西崎町）と梶岡組（安八郡神戸町）の関係者約20名が一同に集結し、幟り旗を片手に、将来の土木技術者らに「頑張れ！」と声援を送った。

これまで開いた現場見学会や出前講座などで顔馴染みの生徒たちを見つけると、一層力を込めて声を掛け合い、生徒たちは手を振りながら、笑顔で走り抜けて行った。

ゴールである同校に辿り着いた生徒たちは、育友会による豚汁を食し、辛くとも楽しい大会を終えた。





伊吹山を背に、杭瀬川の自然風景を感じながら駆け抜ける生徒たち（ラジコンヘリコプターによる上空からの撮影）

※ 応援看板の設置、ならびに空中写真撮影については、工事施工業者2社が地域貢献活動の一環として取り組んだものであり、後日、学校側へ寄贈させていただきました。



- 第39回大垣工業高等学校強歩大会は、天候に恵まれ絶好のコンディションの中、無事に終わることができました。今年度も、杭瀬川堤防をお借りして実施しました。開催にあたって、揖斐川第二出張所の方々、岐建株式会社、梶岡組の皆様による多大なご協力を賜り、大変盛り上がる大会となりました。特に、堤防上で応援をいただいたことで、生徒全員に勇気と気力が、体中から湧いてきたのではないのでしょうか。この大会で培った精神力や感謝の心を、社会に出てからも活かせるよう、これからも指導していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

大垣工業高等学校 教諭 高橋 恭二



- このマラソン大会では、私共が現在施工しております杭瀬川左岸堤防（若森地内）を通過するという事で、我々、現場担当者数名と幟旗を片手に走り抜ける若人に大きな声援を送りました。寒さも厳しい冬空の下、晴天にも恵まれ額に汗を掻きながら走り抜けるその姿に、私も非常に心打たれ深い感銘を受けました。この4月より大垣工業高校の新卒者が弊社に就職する方がみえますが、新たに加わる新しい力が、未来へ繋がる建設業界への光となるよう共に力を合わせ、これからも社会的役割を果たしていきたいと思えます。

杭瀬川若森築堤工事 現場代理人 (株) 梶岡組 中島 佑太